

PHJ メールニュース 2010年7月号  
送信日時：2010年7月15日



PHJ メールニュース読者の皆様

連日むしあつい日が続いています。皆様お元気ですか？PHJ メールニュース 2010年7月号を配信いたします。PHJ では7月1日に2011年度の活動を開始いたしました。全員新たな気持ちでタイ、インドネシア、カンボジアでの支援活動を行なってまいります。

PHJ メールニュースはPHJの活動を支援してくださっている皆様に本部、タイ、インドネシア、カンボジアでの活動をより広く深く知っていただくために毎月メールでご報告するものです。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、およびPHJを支援してくださっている方々にお送りしています。

---

#### PHJ メールニュース7月号目次

1. PHJ 本部のニュース
  - 1-1. PHJ 季刊誌 53号発行、英文版も Web 上で同時発信
  - 1-2. 2011 チャリティカレンダー
  - 1-3. 現役医大生がカンボジア事務所訪問
  - 1-4. スタッフのブログ
  
2. PHJ タイ事務所のニュース
  - 2-1. 新プロジェクトマネージャーとボランティア
  - 2-2. 子宮頸がん予防教育
  - 2-3. HIV/AIDS 予防教育
  
3. PHJ インドネシア事務所のニュース
  - 3-1. セラン県ベスト助産師
  - 3-2. 母子保健センター、保健・保育センターの建設
  
4. PHJ カンボジア事務所のニュース
  - 4-1. 村での保健教育—コンポントム

## 4-2. 村での保健教育ープレイベン

\*\*\*\*\*

### 1. PHJ 本部のニュース

#### 1-1. PHJ 季刊誌 53 号発行、英文版も Web 上で同時発信

7 月 1 日 ホープニュース夏季号を発行し会員の皆様に郵送いたしました。巻頭言「身近で質の高い医療をより多くの人々に提供すること」 PHJ 理事 藤森義明 日本 GE 株式会社 代表取締役社長兼 CEO、タイ ミニバスを使った教育活動始動、インドネシア 助産診療センター寄贈式、カンボジア クメール伝統楽器で初のコンサートなどが盛り込まれています。

<http://www.ph-japan.org/about/newsletter/newsletter.html>

英文版 PHJ News No.53 も同時に Web 上で公開しました。

[http://ph-japan.org/en/about/phj\\_news.html](http://ph-japan.org/en/about/phj_news.html)

#### 1-2. 2011 チャリティーカレンダー

6 月号でお知らせした「アジアのおはなしカレンダー」で募集している各国の子供たちの絵が続々と届いています。たとえば、日本からはお馴染みの「はなさかじいさん」「わらしべ長者」の絵が届くなか、タイからは「賢い子とずるい子」「お母さんの霊が乗り移った魚のお話」など初めて知るお話の絵がほとんどです。インドネシアからは一つのストーリーに対して 3 人の子供が絵を描いてくれました。一方カンボジアではポルポト政権の影響からほとんどの子供たちが民話を知らないため、これから読み聞かせとお絵描きを組み合わせる予定で行う予定です。

#### 1-3. 現役医大生がカンボジア事務所訪問

PHJ の活動現場を見学したいという医大生からのメールに応え中田所長が案内しました。訪問中の様子や感想をご本人がまとめてくださったので新着情報で紹介しています。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4c2d50ee24790>

#### 1-4. スタッフブログ：村で歩くと（3）

[http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan/](http://blog.livedoor.jp/ph_japan/)

\*\*\*\*\*

### 2. PHJ タイ事務所のニュース

## 2-1. 新プロジェクトマネージャーとボランティア

PHJ タイの子宮頸がん、乳がん予防教育マネージャーに Yao さんが就任しました。看護師の資格をもつベテランの女性です。公立の病院で 11 年、隣国のラオスで 3 年勤務した経験を活かしてくれると期待しています。また 7 月から 3 ヶ月カナダ人の女性が PHJ タイ事務所でボランティアとして子宮頸がんプロジェクトやラーニングセンターの活動を手伝ってくれています。

## 2-2. 子宮頸がん予防教育

6 月 3, 4, 10, 11, 21, 25 日にメタン、メリン郡の 70 村で 2, 223 名の女性を対象に保健教育とパップ検査を実施しました。参加したのは 863 名、38.82%でした。モバイル健診はメリン郡の 3 村で 6 月 10 日に行い 62 名が参加しました。またミニバスにパップ検査用のベッドを武田薬品工業様の支援で据え付けました。メリン郡の看護師や保健スタッフ 13 名へのフォローアップ教育を 6 月 19 日に実施しました。今後パップ検査受診率の低い地域で受診推奨を行う計画です。6 月 30 日メリン郡で看護師と保健スタッフ 15 名とのミーティングを開催しました。

## 2-2. HIV/AIDS 予防教育

6 月 7 日 AIDS に関する NGO のカンファレンスに PHJ タイ事務所のスタッフが出席し、他の NGO との交流ができました。

パヤップ大学では 6 月 4 日に新入生 1, 700 名に HIV についてのハンドブックを配布しましたが、PHJ タイ事務所が支援しました。また 12, 26, 27 日に同大学体育学部の 1 年生 60 名向けにピア教育を行いました。HIV/AIDS に関する知識を習得するだけでなく、絵を描いて男女の体を具体的に把握したり、さまざまな愛の表現方法を学んだり、多角的で独創的なテーマで教育が行われています。

6 月 12 日にはチェンマイ大学で 80 名の寮生向けに HIV 予防について講演を行いました。

6 月 18 日にはチェンマイにあるタイ ウィジテイン学校の 250 名の生徒に HIV/AIDS 予防教育を実施しました。

\*\*\*\*\*

## 3. PHJ インドネシア事務所のニュース

### 3-1. セラン県ベスト助産師

PHJ が支援しているテイルタヤサ自治区クブユタン村の助産師さんが、2010 年度のセラン県ベスト助産師に選ばれました。本人も PHJ も喜んでます。

### 3-2. 母子保健センター、保健・保育センターの建設

5月号でお知らせした母子保健センターと保健・保育センターのその後です。ススカン村の2階建て Poskesdes 母子保健センターの建物は最終工程にはいっています。使用する水は手掘で36メートル掘り、地下水をくみ出し、今後ポンプ、ソーラーパネルを据え付ける予定です。トウンダ島の分娩室、保健・保育センター建設もいろいろな想定外の状況が発生したもののファイナルチェックをまもなく終えます。ここで使用する水は水塔も完成し、ポンプ、ソーラー資材が到着後据付します。

\*\*\*\*\*

#### 4. PHJ カンボジア事務所のニュース

##### 4-1. 村での保健教育 — コンポントム

6月には20の村で衛生、下痢、デング熱のいずれかについて保健教育を実施しました。衛生は2村、下痢2村、デング熱16村で行いました。参加者は1村につき平均66人、合計1,311人（うち子供は388人）でした。保健知識のプレテスト、ポストテストの結果は平均で61点から96点に向上しました。保健教育のおかげで村人が病気に対して正確な知識を持つことができている。例えば村人の中にはデング熱は空気感染すると恐れたり、汚い水を飲んだからと考える人がいましたが、正しい知識を得たことにより、媒体である蚊の発生源をつぶしたり、蚊帳を使って寝るなどの予防対策が取れるようになりました。保健教育の効果をみて村のボランティアも協力的になっています。

##### 4-2. 村での保健教育 — プレイヴェン

6月22日から26日までピームミエンチェイ保健センター管轄下4村、ポンレックプラサット保健センター管轄下4村で保健教育を実施しました。前者の4村のトピックは助産師が選んだ妊婦健診、産後健診、3大栄養素、家族計画、予防接種でした。後者の4村は非常に貧しく、昼間からギャンブルをしている男性が多く、文字を読めない人も多く、伝統を強く信じているので保健教育は難しいことがわかりました。助産師は今後もこういう村での教育に工夫を凝らす必要があります。

\*\*\*\*\*

---

■ クリック募金にご協力ください！

#### イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト「イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。

<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

---

PHJ メールニュース 2010 年 7 月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。  
このメールニュースへのご意見、ご要望は [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org) までお送りください。  
次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org) までメール  
ニュース配信不要とご連絡ください。

\*\*\*\*\*

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org)

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2010 ピープルズ・ホープ・ジャパン

\*\*\*\*\*